

八木健の川アート

71

大局的な立場に立ってみる
新燃岳の噴火は、恐ろしい。近隣住民の生活や経済活動への影響は深刻で痛ましいが、地球は火の玉だから、どこから噴き出すか分からない。冷静になってみれば。

今月の八木健



中心が燃えているから暖かい

特選

選者・川柳アート
八木健

(月刊川柳総合誌「川柳マガジン」元選者)



着膨れてプロポーションがわからない

花山 昇 (松山市)

着膨れてプロポーションがわからない
着膨れる際に、プロポーションがわかるようにしてほしいという勝手な願望が、この句の根底にある。しかし、プロポーションに自信がないからこそ着膨れるのであるから、余計なお世話と言えよう。

佳作



誰にでも愛想がいい自動ドア

キューピーバーバ (松山市)

誰にでも愛想がいい自動ドア
自動ドアは歴史が古く、山手線のドアは、確か大正末期に自動化されている。ドアが愛想よくても受付嬢がイマイチということもある。そのうち、自動笑顔の受付ロボットが登場するにちがいない。



金子 亶 (東温市)

ひと切れで口が腫れそうクロマグロ
マグロの刺身は、日本人だけが食べるから値がつり上がり、資源保護のため漁獲制限もやましい。しかし、卵からの養殖が始まっているから、安心してくれたまえ。金子さんは「食べたくて」口が腫れたのかも。



藤原 白男 (今治市)

こんなにやくの身になって見よ針供養
言葉は強いが、心音の優しい一句である。八木健が十年前に作った句に、「弱弱が痛がつてある針供養」がある。これは俳句で描写。川柳は主張。俳句と川柳の違いが分かる好例。



福田 斗之 (松山市)

めがねかけめがねをさがす傘寿の間
日常的に頻繁に起きる、可笑しい出来事が句となった。この句は、自身のことを題材にした自嘲的な句になっているが、他人を詠んだとしたら上手な「からかい」の句となる。



北川アイ子 (松山市)

混浴は足湯だったよクラス会
「混浴」をうたい文句に参加者を募るのはよくあること。ましてやクラス会ともなれば、初恋の人と一緒に……。これは混浴詐欺ですなあ。添削しましょう。「混浴は足湯だけのクラス会」

古今の名句



どや顔ママ

コンビニで整いました母の味
第二十四回のサラリーマン川柳の秀句である。いづれそのうち、「母の味コンビニだけが知っている」となるかも。常時コンビニに頼っていると「コンビニの味がいつしか母の味」となる。

本コーナーが
待望の単行本化
好評発売中!!



「八木健の川柳アート」では、川柳を募集しています。テーマは自由。未発表のオリジナル作品に限ります。採用された作品には八木さんが「川柳アート」を作り、本誌に掲載の上、採用者にプレゼントいたします。応募方法は36ページをご覧ください。